

化学生物総合管理学会・社会技術革新学会 春季討論集会（2016）

今年は春季討論集会を両学会が主催することから、2つの異なるテーマで講演と討論を行い、議論を深めることをねらいとしています。

日時 2016年2月23日(火) 13:00~17:20 (受付開始 12:40)

会場 お茶の水女子大学 共通講義棟1号館 304教室

東京都文京区大塚 2-1-1 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅 徒歩 7分

東京メトロ有楽町線護国寺駅 徒歩 8分

プログラム概要

テーマ: 経営リスクをどうマネージするか?

テーマⅠ: 化学物質総合管理の規制から管理を経て経営(価値創造)への進化

欧州の REACH 規則にみられるように化学物質総合管理は従来の規制から管理へと変化し、その施行から 8 年が経った今、化学物質総合管理はまさに経営リスクの問題さらには付加価値の創造に繋がる課題へと発展している。化学物質総合管理の歴史と各国の動き、日本の現状と課題を論じ 2020 年目標が迫りくる中、今後の化学物質総合管理のあり方を考える。

発表者: 裏面をご参照ください

テーマⅡ: データの信頼性と経営リスク

2015 年に発覚したくい打ちデータの改ざん事件は、データの信頼性が品質保証の問題であるのみならず、経営リスクにつながるということを例示している。化学物質総合管理においては、データ管理やその品質保証のために Good Laboratory Practice(GLP)という国際的な規範が定められている。GLP 事例を検証しつつ、データの信頼性と経営リスクのマネジメントについて議論する。

発表者: 選定中

<プログラム詳細(発表者・演題)は、裏面をご参照ください。>

参加方法

- ★参加登録[事前登録制]: 学会の会員以外の方も参加歓迎
- ★参加希望の方は、①参加者氏名(フリガナ)、②所属(勤務先等)、③懇親意見交換会参加有無(2,000円(会員・非会員共))を明記のうえ、E-mailにてお申し込み下さい。 kagaku*cbims.net (*を@に直して発信してください)
- ★参加費: 無料(会員)、1,000円(非会員)(銀行振込)(参加申し込みとともに、お振込下さい。懇親意見交換会に参加の方は、合わせて3,000円となります。)

振込先 みずほ銀行飯田橋支店、普通口座 2329303、口座名 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

(※振込の際は、必ず参加者カナ氏名を振込み人名義として下さい。恐れ入りますが、振込手数料はご負担をお願いします。なお、振込依頼書・振込受領書を持って領収書に代えさせていただきます。)

振込の確認が出来次第、メールにて参加証をお送りいたします。

なお、出欠にかかわらず、一度振込された参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。)

会場までのアクセスは、<http://www.ocha.ac.jp/access/index.html> をご覧ください(南門からの入構が便利です)。

主催

化学生物総合管理学会
社会技術革新学会

<http://www.cbims.net/>
<http://www.s-innovation.org/>

email: kagaku*cbims.net

email: sgjutsu*s-innovation.org

(*を@に直して発信して下さい)

■ 2016春季討論集会プログラム ■

日時: 2016年2月23日(火) 場所: お茶の水女子大学 共通講義棟1号館 304教室

受付開始 12:40~

時間	氏名 (敬称略)	講演演題
13:00	開会挨拶 増田優 お茶の水女子大学	
テーマ: 経営リスクをどうマネージするか? テーマⅠ: 化学物質総合管理の規制から管理を経て経営(価値創造)への進化 テーマⅡ: データの信頼性と経営リスク		
13:00 ~ 13:50	星川 欣孝 ケミカルリスク研究所所長	TSCA修正の概要と米国の既存法規見直し過程の特徴
13:50 ~ 14:40	榎 尚史 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター	日本企業の化学物質総合管理に係る活動の実態から見た課題
14:40 ~ 15:30	粟谷 しのぶ 弁護士(第二東京弁護士会所属)	化学物質管理における法的リスクと向き合うために ~日本の法制度と行政の執行体制の現状と課題~
15:30 ~ 16:20	選定中 所属	データ信頼性に関する国際的な動きの事例紹介
16:20 ~ 17:20	討論	
17:20	閉会挨拶	
17:20 ~ 19:20 懇親意見交換会(会費制 2,000円)		
題名、発表順は都合により変更になる場合があります。		